

エネルギーの使用の合理化及び非化石エネルギーへの転換等に関する法律に基づく ベンチマーク指標、並びに赤道原則に基づく温室効果ガス排出量の実績について

当社福島天然ガス発電所（福島県相馬郡新地町）におけるエネルギーの使用の合理化及び非化石エネルギーへの転換等に関する法律に基づき定めたベンチマーク指標、並びに赤道原則に基づく温室効果ガス排出量（二酸化炭素）の実績を下表のとおりご報告いたします。

当社は今後も引き続き、本発電所の高効率を維持した安定運転に取り組んでまいります。

■ベンチマーク指標

項 目	2023 年度実績	2024 年度実績	目指すべき水準
火力発電効率 A指標	1.15	1.14	1.00 以上
火力発電効率 B指標	55.4%	54.8%	44.3%以上

※A指標、B指標ともに、高位発熱量(HHV)ベースの熱効率を用いて算出

※2024 年度のA指標・B指標は、出力抑制増に伴う低負荷運転の増加により効率が低下したため、2023 年度を下回りました。

【参考】目指すべき水準の考え方

A指標：燃料種毎の発電実績効率の目標値に対する達成度合いに関する指標

$$\begin{aligned}
 \text{火力発電効率A指標の目指すべき水準} &= \frac{\text{事業者の全石炭火力発電効率の実績値}}{\text{石炭火力発電効率の目標値(41\%)}} \times \text{火力のうち石炭火力の発電量比率の実績値} \\
 &+ \frac{\text{事業者の全LNG火力発電効率の実績値}}{\text{LNG火力発電効率の目標値(48\%)}} \times \text{火力のうちLNG火力の発電量比率の実績値} \\
 &+ \frac{\text{事業者の全石油等火力発電効率の実績値}}{\text{石油等火力発電効率の目標値(39\%)}} \times \text{火力のうち石油等火力の発電量比率の実績値}
 \end{aligned}$$

1.00
以上

B指標：火力発電の総合的な発電効率に関する指標

$$\begin{aligned}
 \text{火力発電効率B指標の目指すべき水準} &= \text{石炭火力発電効率の目標値(41\%)} \times \text{エネルギーミックスにおける火力56\%のうち石炭火力26\%} \\
 &+ \text{LNG火力発電効率の目標値(48\%)} \times \text{エネルギーミックスにおける火力56\%のうちLNG火力27\%} \\
 &+ \text{石油等火力発電効率の目標値(39\%)} \times \text{エネルギーミックスにおける火力56\%のうち石油等火力3\%}
 \end{aligned}$$

44.3%
以上

■温室効果ガス排出量（二酸化炭素）

項 目	2023 年度実績	2024 年度実績
二酸化炭素排出量	242 万 t-CO ₂	248 万 t-CO ₂

※地球温暖化対策の推進に関する法律に基づき算出

※2024 年度の二酸化炭素排出量は、発電電力量増に伴う燃料使用量の増加により、2023 年度を上回りました。